

歩いてめぐると 古代から近代

〔たがわ発見モデルコース①〕

香春町

所要時間 / 約4時間

歴史好きも文学好きも満足できる文化の香り高き道。

8世紀の豊前国風土記にその名が記されている香春町。古代は都から大宰府に向かう大宰官道(田河道)の宿駅であつたばかりか、ここを通じて大陸文化が入って来たいわば文化の交差点。平安時代にはわが国有数の銅の採掘所として重要視されてきました。そして江戸時代に宿場町として栄え、お茶屋、藩庁や郡役所が置かれて田川の政治・経済・文化の中心に。近代ではセメント産業で大いに発展しています。

町内にはそんな歴史を伝える古刹や史跡、遺構が点在。一方、香春岳をはじめ、豊かな自然にも恵まれて、万葉歌人・杉田久女、種田山頭火など、多くの歌人、俳人らが穏やかな光景を歌や句に詠み込みました。それらを後世に伝えるべく町内には歌碑や句碑もたくさん建っています。

文学ファンには碑をたどるだけでも素敵な小旅行が楽しめます。史跡を巡る散策は歴史ファンを大いに満足させるはずですよ。

1 JR香春駅

ココからスタート



2 森鷗外句碑

「小倉日記」によれば、軍医だった鷗外は明治34年の7月、演習のため香春を訪れます。



駅からすぐ!! 町役場前

役場から国道201号を渡ってすぐ



3 豊前国風土記碑

和銅6年(713)、朝廷によって編纂された豊前国風土記に「田河の郡(たがわのこほり)、鹿春の郷(かはるのさと)、郡の東北のかたにあり、…」という記述が見られます。

4 国道201号から見える鳥居を目印に左折。鏡山に「豊前風土記・鏡山」があります。



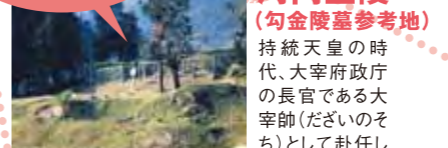
山頭火遊歩道

種田山頭火は、現・糸田町の豊国鉱業所病院の医師で彼を経済的、精神的に支えた木村緑平を訪ねていく度も足を運び、時に香春に遊びました。金辺川のほとりには山頭火遊歩道が整備され、香春岳や町の自然を詠んだ10首が碑に刻まれています。



6 鏡山大神社

持統天皇の時代、大宰府政府の長官である大宰帥(だざいのそち)として赴任した河内王の陵墓。王の死を悼んだ妃の手持女王(たまちのひめみこ)の歌碑があります。



7 鏡ヶ池

神功皇后が自分の姿を映したという池。今も湧き出る水が清々しさを感じさせます。



5 鏡山大神社

祭神は仲哀天皇と神功(じんぐう)皇后。熊襲征伐の陣中、天皇が崩御されたため、熊襲の後ろ盾だった朝鮮半島の新羅(しらぎ)を討つべく、皇后は男装され、ここに天の神・地の神を祀って必勝を祈願したといわれます。



民家の庭先にあるけれど見学は自由。

味の茶屋 こぐれ

呉ダム渓流公園

香春を詠んだ歌が万葉集に7首もあるんですよ!



香春町郷土史会 会長 柳井秀清さん

ボランティアガイドさんに頼もう!

シルクロードでいえば東洋と西洋が出会う敦煌のような所。それが香春。古代、都と大宰府を結ぶ官道が通っていたことから、大陸からもたらされた文化はここを通じて都へ伝えられていました。戦国時代には豊後の大友氏が戦を仕掛けたほど重視されていた交通の要衝だったんです。そんな歴史と文化に彩られたわが町にぜひお越しください。私たち郷土史会の有志がご案内します。

ボランティアガイドお問い合わせ / 香春町役場産業振興課商工観光係 ☎0947-32-8406 2週間前前にご予約ください。日時、コース、所要時間などはご相談に応じます。ガイド費用は無料です。

8 神宮院

梅の名所であり、伝教大師最澄ゆかりの古刹。石灰岩に根を張る珍しい石割ビワや樹齢800年の大銀杏(いずれも福岡県天然記念物)、杉田久女の句碑などがあります。



江戸から昭和までの時代が混在。



伊能忠敬止宿跡

香春町並み散策

近世、小倉藩の支城香春岳(鬼ヶ城)の城下町として造られた香春町。藩政時代には藩庁が、明治から大正にかけては郡役所などが置かれて、田川の政治・経済・文化の中心でした。旧道に沿って町並みを歩くと、そういった歴史を伝える碑や遺構、史跡などを見ることができます。

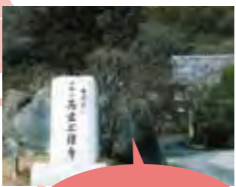
13 香春岳

石灰岩の採掘により山頂が平らに削られた一ノ岳と、二ノ岳、三ノ岳からなる筑豊を象徴する山。戦国時代には香春岳城が築城され、その昔から霊山として知られています。小説「青春の門」にも登場しました。ハイキングや登山コースとしても人気。



9 高座石寺

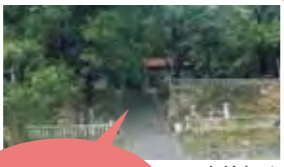
かつて神宮院は神宮寺と呼ばれており、当寺は神宮寺六坊のひとつでした。中世の香春岳城主の居館だったともいわれています。細川幽斎菩提塔、山頭火の句碑あり。



石段道を下りると高座石寺境内。

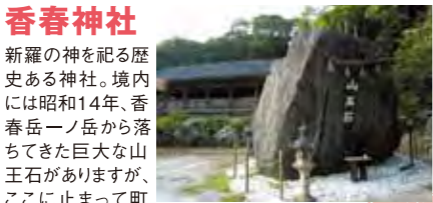
10 須佐神社

神社の上、香春岳一ノ岳中腹にはかつて鬼ヶ城が築かれていました。境内には抜気大首(ぬきげのおびと)の万葉歌碑が建っています。



香春神社

新羅の神を祀る歴史ある神社。境内には昭和14年、香春岳一ノ岳から落ちてきた巨大な山王石がありますが、ここに止まって町へ被害が及ばなかったのは神の靈験によるものだろうといわれています。



「味の茶屋 こぐれ」

創業35年を誇り、うなぎ料理や瓦そばが名物。一品料理もいろいろ揃います。うなぎ重(上)1950円、うなぎ1400円、瓦そば1人前1050円など。
☎11時~21時30分 (21時オーダーストップ)
第1・第3・第5水曜日店休
☎0947-32-4743

ご当地の美味・逸品

「銀寿司」

知る人ぞ知る寿司の名店。単品はもちろんのこと、お昼の定食も人気です。定食1300円~
☎10時30分~22時、不定休
☎0947-32-4630



四季さいさい

ふる里かわら梅まつり

梅の名所である神宮院、高座石寺一帯で開催。撮影会や茶会、民謡披露など、催しも盛りだくさん。



呉ダム渓流公園

ダムに注ぐ呉川の川岸が親水公園に整備され、涼しい夏の1日が過ごせます。



山頭火遊歩道の銀杏並木

金辺川をわたる風もさわやかに感じられる秋。銀杏並木が見事な黄色に色づきます。



オプションルート

もっと歌碑や句碑を楽しみたい方には。

添田町 英彦山の歌碑めぐり

田川地区には、種田山頭火をはじめとするたくさんの歌碑・詩碑が残っています。英彦山にも歌碑・句碑が多く、全体が岩でできている花見岩に建つ青木月斗の句碑や、参道から雪舟築庭にはいる道の側に建つ高浜年尾(高浜虚子の長男)の句碑、英彦山の近く杖立峠に建つ松尾芭蕉の句碑など。かつては三千の坊があったという英彦山の栄華を偲ぶものも多いのですが、建物の経緯やいわれはさまざま。荘厳な英彦山に静かに建つ碑は、この地の歴史や人々の想いを静かに語っているようです。



広瀬淡窓詩碑



近世、小倉藩の支城香春岳城(鬼ヶ城)の城下町として造られた香春町。藩政時代には藩庁が、明治から大正にかけては郡役所などが置かれて、田川の政治・経済・文化の中心でした。旧道に沿って町並みを歩くと、そういった歴史を伝える碑や遺構、史跡などを見ることができます。